



## ボッシュが新たな技術研究センターを 米国シリコンバレーに開所 AI、センサーと自動運転を研究

2018年4月5日  
PI 10611 RB B6/KB

- ▶ 技術研究センターがサニーベールに移転:約 200 人の従業員が勤務
- ▶ スペースが 40%以上拡大:創造性と対話を重視した、約 1 万㎡におよぶ魅力的な職場環境を構築
- ▶ ボッシュ北米社長のマイク・マンズエッティ:「ボッシュは今後、新しい拠点のおかげでシリコンバレーの状況をより正確に把握しやすくなるはずです」

サニーベール(米国)ノシュトゥットガルト(ドイツ) – 革新的な研究開発、トレンドのキャッチやベンチャー企業への投資を実現するために、敷地を広げ、職場環境の魅力をアップ:ボッシュはシリコンバレー地域のサニーベールに、より広い土地を確保し、そこに技術研究センターを移転しました。同センターはこれまで、サニーベールから約 15km 西方に位置するパロアルトに置かれていました。この新センター開設のために、ボッシュは約 3,600 万ユーロ(約 4,000 万米ドル)を投入しました。センターの開所式に際し、ボッシュ北米社長のマイク・マンズエッティは、「私たちはすでに約 20 年前からこの地域で地歩を固めています。地域の研究団体や企業とも良好な関係を築いていますので、今後はシリコンバレーの状況をより正確に把握しやすくなるはずです」と述べました。新センターの開設により、約 200 人の従業員が初めて同じ屋根の下で働くことになりました。センターのスペースは全体で 40%増の約 1 万㎡におよび、最大 300 人がここで研究に従事することができます。

開所式において、「ボッシュのグローバルな研究ネットワークの一環としてシリコンバレーで働く従業員たちは、基礎研究から市場に対応したソリューションまで、センサー技術やネットワーク化した自動運転車両といった分野の画期的な製品やソリューションの基盤を築いてきました」とセンター長の Hauke Schmidt が述べているように、サニーベールで働く従業員の約半数は、データマイニング、センサー、AI、自動運転などの分野のプロセスやソリューションの開発につながる基礎研究や先端エンジニアリングに携わっています。センターの建物は 10 年契約でリースされ、ボッシュの 9 つの事業部のエンジニアリング事業の本拠地となり、ここで働く従業員は、研究成果を展開可能なソリューションへとシフトし、トレンドをキャッチするために尽力することになります。なお、

同センターには、開発のあらゆる段階で世界中の革新的なスタートアップ企業に投資する、ボッシュ・グループ傘下の Robert Bosch Venture Capital GmbH のオフィスも置かれています。センターの設計には、従業員たちの意見がさまざまな形で活かされています。同センターには近代的なラボ、ワークショップやオフィスのほかに、アイデアを掘り起こし、職場の人たちとの対話、また地域の提携ビジネスパートナーや研究パートナーとの対話を通じてそのアイデアを発展させ、想像力をさらに飛躍させることができるアウトドアエリアなど、協働と独創力を生み出すスペースも設けられています。

### **長年にわたり米国とシリコンバレーで活動を展開**

テクノロジーとサービスのグローバルサプライヤーであるボッシュは 1906 年に米国に進出し、現在は約 1 万 8,000 人の従業員が米国で働いており、そのうち 2,000 人以上が研究開発に携わっています。ボッシュは米国の市場の可能性に大きな期待を寄せ、継続的な投資を行っています。2013 年から 2017 年までに総額で約 13 億ユーロを米国に投入していることから、その期待の大きさを伺い知ることができます。なお、その投資には、チャールストンとアンダーソンにあるモビリティソリューションズ事業部傘下工場の拡充のための費用も含まれています。シリコンバレーの技術研究センターは、ボッシュが欧州以外に置いた初めての研究施設で、1999 年にわずか 3 人の従業員とともにスタートしました。ボッシュは米国で研究開発活動を展開するにあたり、スタンフォード大学やカリフォルニア大学バークレー校といった米国の有名大学と長年にわたり提携関係を構築しているほか、ピッツバーグのカーネギーメロン大学の近隣やボストンのマサチューセッツ工科大学 (MIT) の真向かいにも事務所を設置しています。

### **報道関係対応窓口:**

Trix Böhne,  
電話: +49 30 32788-561

## 世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2017年の従業員数は約40万500人(2017年12月31日現在)、暫定決算報告での売上高は780億ユーロ(約9.9兆円\*)を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドインダストリーに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社450社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界125の拠点で約6万2,500人の従業員が研究開発に携わっています。

ボッシュの起源は、1886年にロバート・ボッシュ(1861~1942年)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の92%は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っており、残りの株式は創業家であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

\*2017年の為替平均レート:1ユーロ=126.71118円

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

[www.bosch.com](http://www.bosch.com) ボッシュ・グローバル・ウェブサイト(英語)

[www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス(英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター(ドイツ語)

[www.bosch.co.jp/](http://www.bosch.co.jp/) ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト(日本語)

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター(日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック(日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube(日本語)